

令和5年度 自彊小学校 第1回学校評価結果（7月）

日頃より本校の教育活動に御協力いただき、誠にありがとうございます。
さて、7月に児童及び保護者の皆様を対象に行った学校教育評価アンケートの結果をお知らせします。学校のホームページにも掲載しておりますので御覧ください。



学校ホームページ
のQRコード

なお、アンケート結果及びいただいた意見・要望は、全職員で共有し、今後の教育計画立案の参考とします。

※アンケート結果について：数値（％）は肯定的な評価の割合をあらわしています。

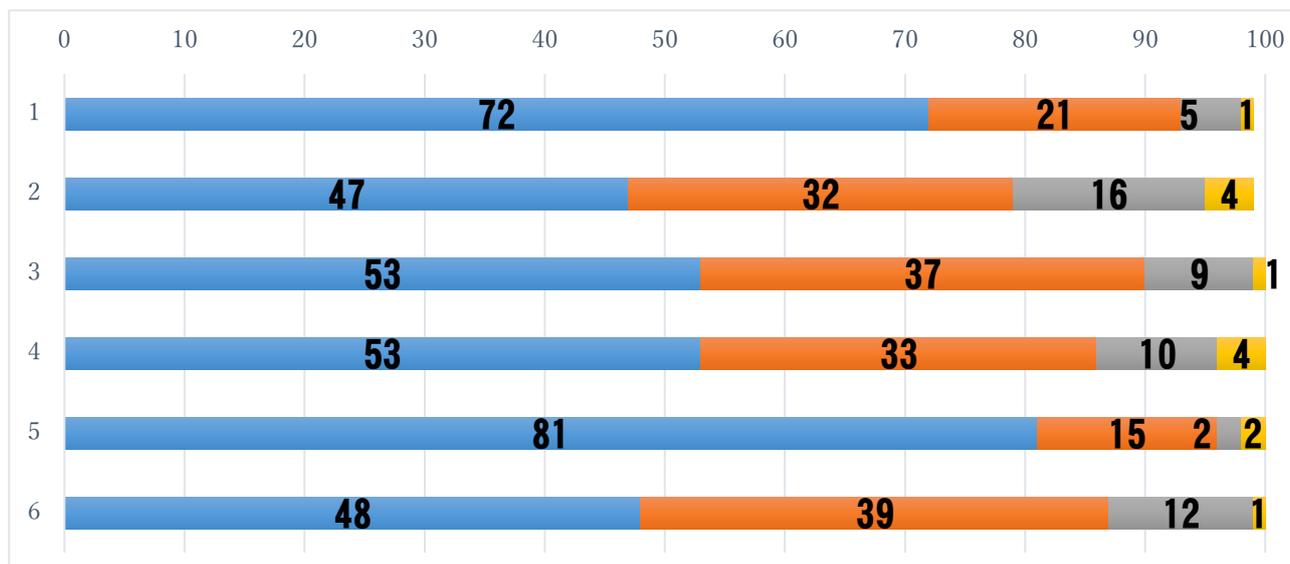
※グラフの見方

■…あてはまる ■…ややあてはまる ■…ややあてはまらない ■…当てはまらない

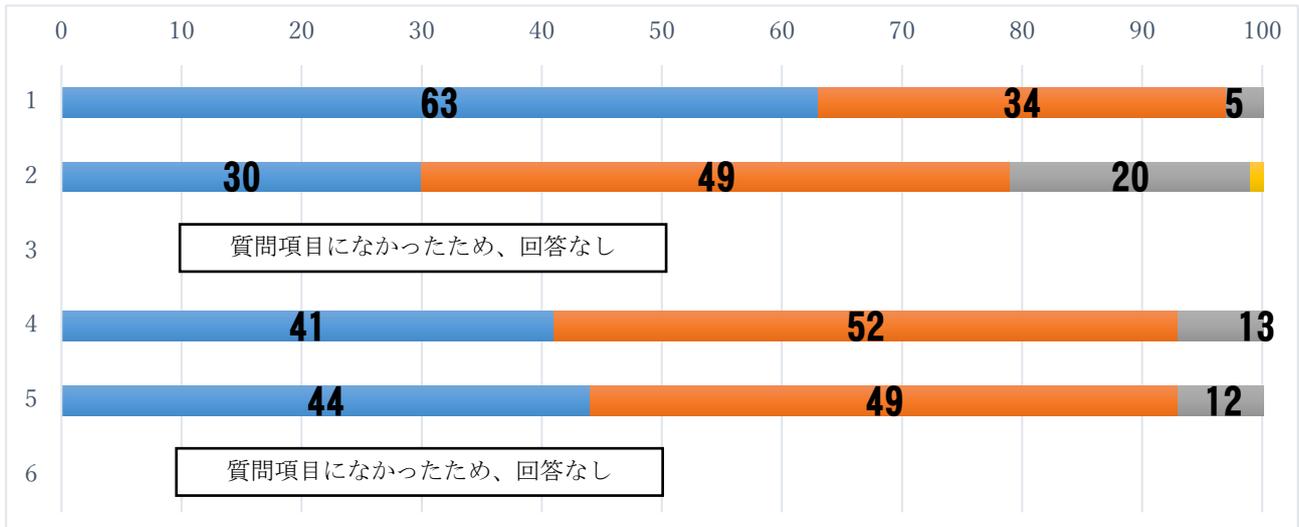
① 学校生活について

| | 質 問 | 児 童 | 保 護 者 |
|---|----------------------------|-----|-------|
| 1 | 学校が楽しい | 93% | 97% |
| 2 | 気持ちのよいあいさつができる | 79% | 79% |
| 3 | 「だまって・一生懸命・時間いっぱい」そうじができる | 90% | |
| 4 | 友達と自分のよさをみつけることができる | 86% | 93% |
| 5 | 先生方は、いじめのない学校になるように取り組んでいる | 96% | 93% |
| 6 | 授業が始まる前に準備をして席に着いている | 87% | |

児童集計（％）



保護者集計 (%)

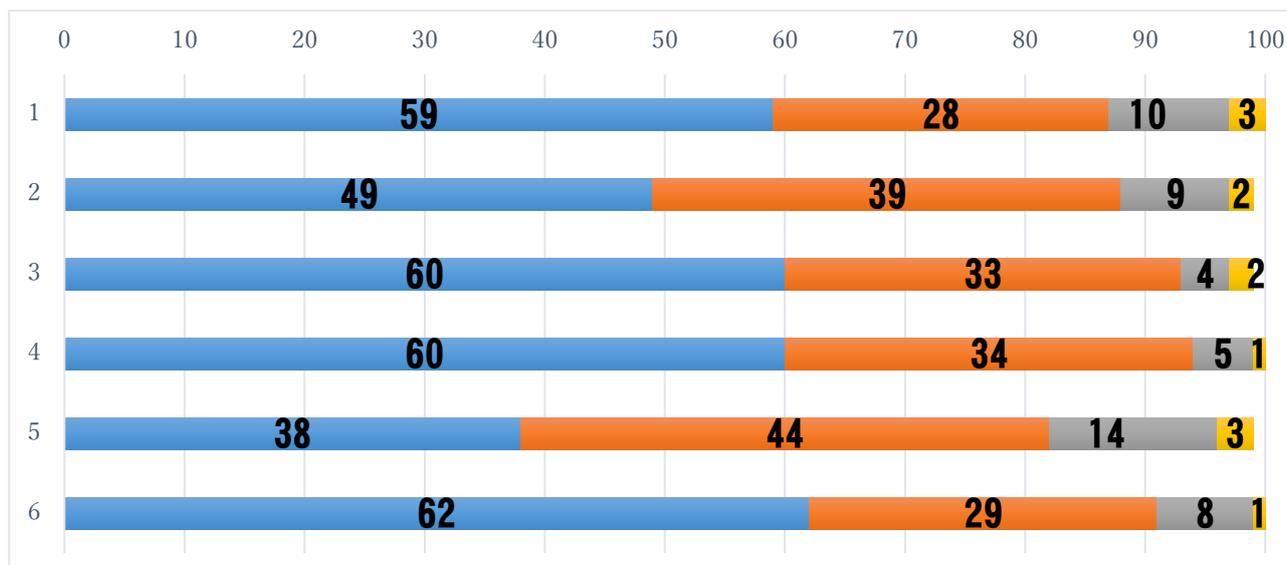


○自彊小学校では、「ともに やってみよう」を重点目標に設定し、「相手を思いやる優しさをもった子」「高い意欲をもち最後までやり抜く子」の育成を目指して指導を行っています。そして、様々な教育活動の基盤となる「自己肯定感」の高まりを大切にしています。アンケートの「友達と自分の良さをみつけることができる」項目において、児童・保護者ともに肯定的な回答が 85%を超える高い数値を示していることから、一人一人の子供が自分のよさを実感しながら生活したり、子供同士が互いに優しい気持ちを持って生活したりすることができているものと考えています。また、「学校が楽しい」項目も 90%を超える高い数値を示していることから、子供たちは充実した学校生活を送ることができていると考えています。一方で、例年課題となっている「あいさつ」は、本年度前半も他の項目に比べ低い値を示しています。今後は、教員による指導だけでなく、児童会を中心にあいさつ運動を行ったり、昼の放送であいさつの素晴らしい子供を紹介したりするなどの活動を通して、校内だけでなく地域でも気持ちのよいあいさつができるよう、子供とともに取組を進めていきます。

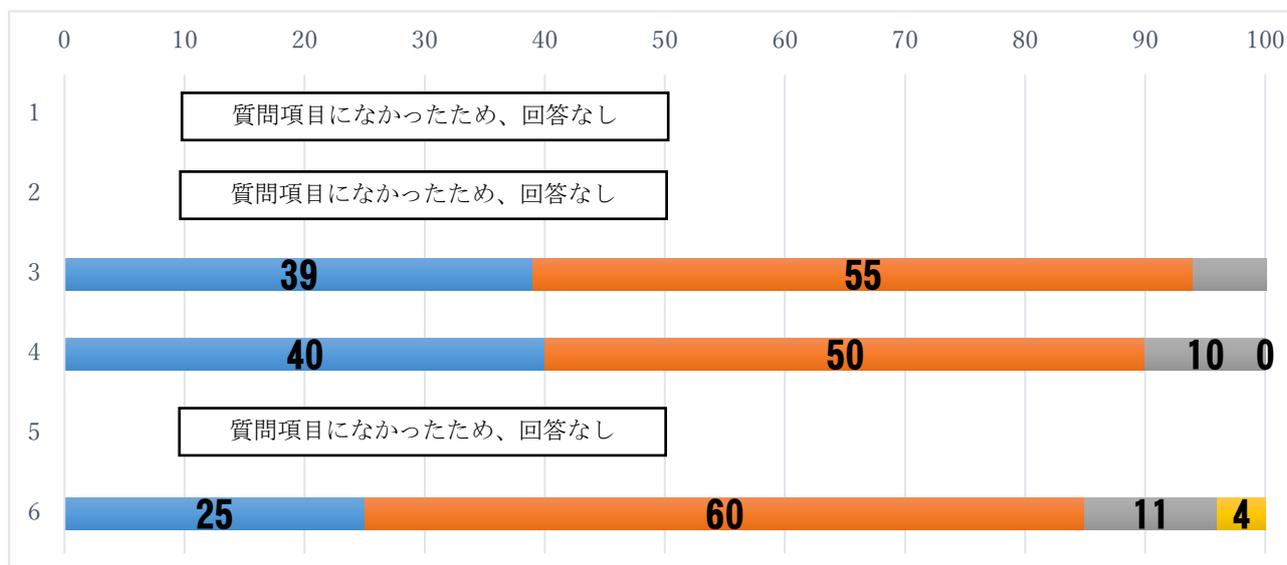
② 学習について

| | 質 問 | 児童 | 保護者 |
|---|--------------------------|-----|-----|
| 1 | 授業で友達と関わってよりよく学び合うことができる | 87% | |
| 2 | 授業で課題に向かい合い、進んで考えることができる | 88% | |
| 3 | 温かく聴くことができている | 93% | 94% |
| 4 | やさしく話すことができている | 94% | 90% |
| 5 | 授業で「比較する（比べる）」ことをして学んでいる | 82% | |
| 6 | 授業の内容が分かる | 91% | 85% |

児童集計 (%)



保護者集計 (%)

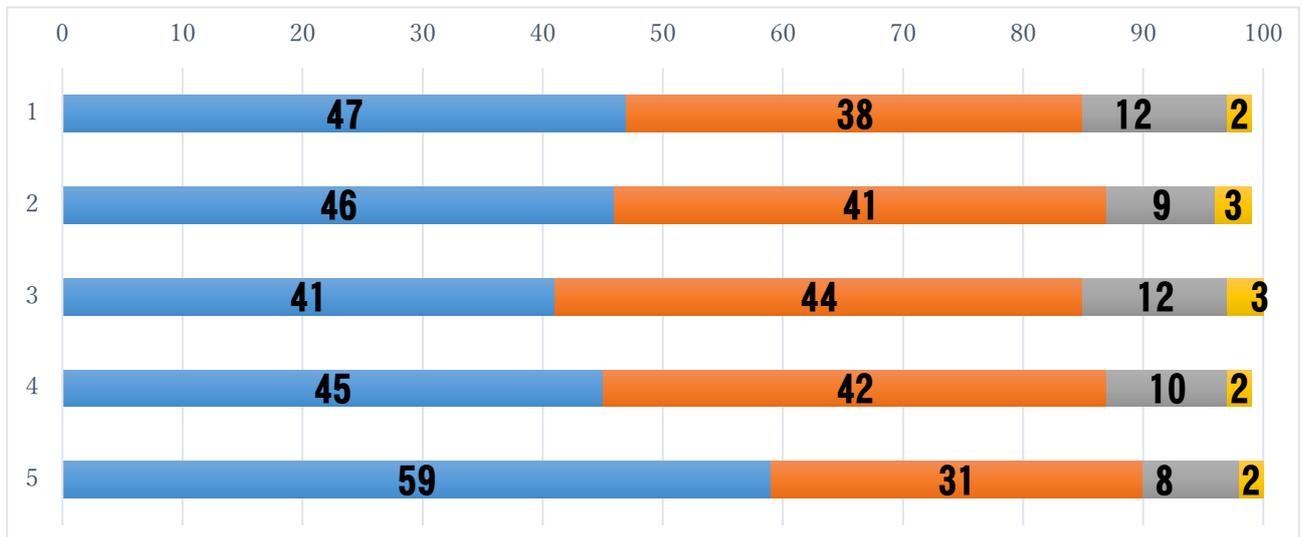


○自彊小学校では、「よりよく関わり合い学び取る子供の育成」をテーマに、子供同士が対話をつなげたり、子供が自ら課題を設定し追究したりする「子供が中心となった授業づくり」に力を入れています。また、「話すこと」「聴くこと」を学習の基本スキルと考え、「温かな聴き方・やさしい話し方」ができるよう、ポイントを絞った指導や自他の考えを大切する意識を高める支援を行っています。これらの指導に加え、一人一台端末を有効活用することで、これまでよりもたくさんの友達と意見を共有したり、写真や動画資料を使いながら学習したりするなど、子供たちの学びの充実に努めています。一方で、「チャットの導入に不安を感じる」「端末を持ち帰るようになりランドセルの重さが大変重い」等の御意見をいただきました。中には、子供たちの中には、YouTube を見たり、ゲームをしたりするなど、端末を学習以外の目的に使っている子供もいるようです。端末の活用に対する保護者の皆様の不安を解消することができるよう、学校と家庭が連携しながら継続的に端末の使用時間やSNSの正しい使い方を指導していきます。

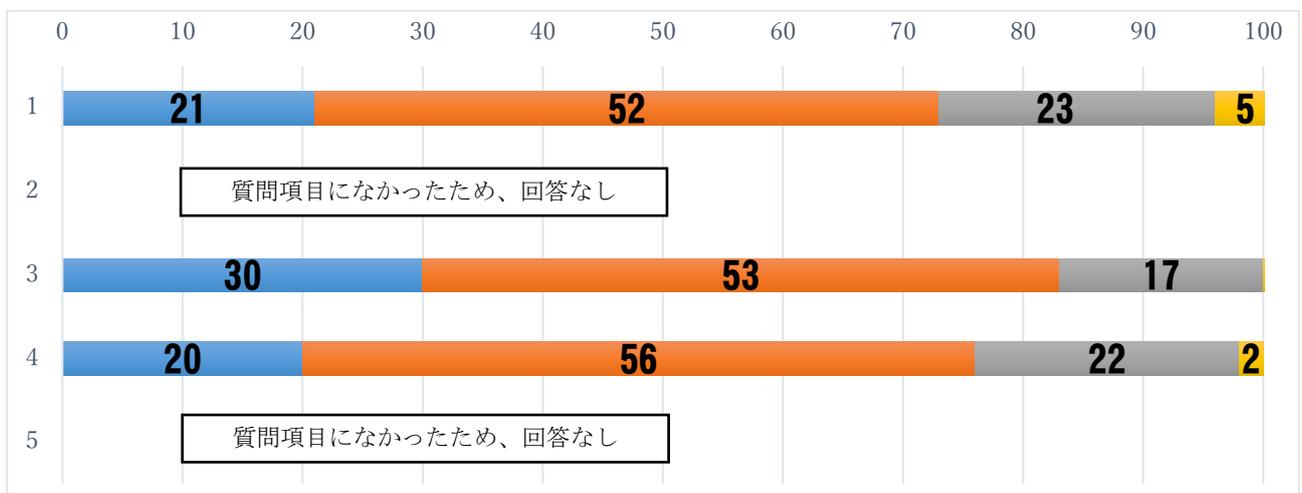
③ 学校行事・特別活動について

| | 質 問 | 児童 | 保護者 |
|---|--------------------------------------|-----|-----|
| 1 | なりたい自分を思い描き、めあてに向かって行動した | 85% | 73% |
| 2 | ともに高め合うために、進んで関わり合うことができた | 87% | |
| 3 | よりよい自分や学級になるように自分にできることを行動にうつすことができた | 85% | 83% |
| 4 | 友達や地域の方などに進んで関わり、協力し合っている | 87% | 76% |
| 5 | 係活動や委員会活動に進んで取り組むことができる | 90% | |

児童集計 (%)



保護者集計 (%)

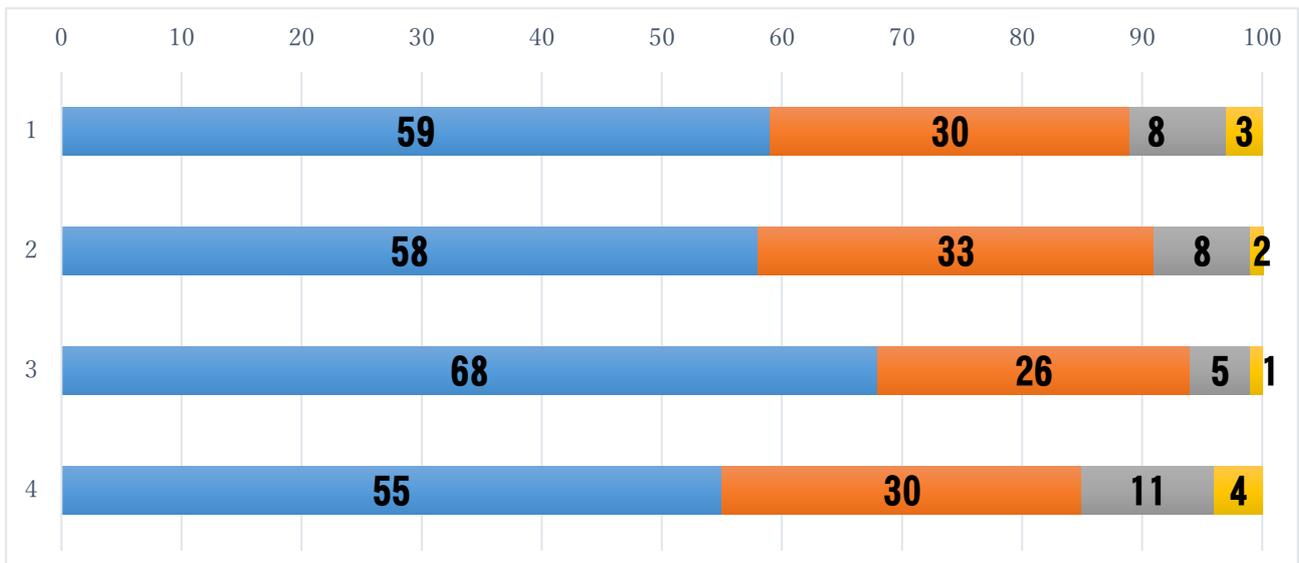


○自彊小学校では、「コミュニケーション力」と「自ら行動する力」の育成に重点を置き、教育活動を進めています。子供たちには、「ともに」高め合うために相手の気持ちや立場を考慮することや、どんなことにも自分から「やってみよう」と進んで挑戦することを求めています。学校行事や特別活動に関する質問項目に対する子供たちの回答は、肯定的な回答がいずれも85%を超える数値であり、子供たちは活動の中で「ともに やってみよう」を実感していると考えています。また、多くの保護者の方から「運動会では、子供たち中心の演出がなされており成長を感じることができた」「運動会で応援し合うクラスの一体感を見ることができた」など、運動会での子供たちの成長についての御意見を多数いただきました。運動会の開会式での競技紹介や閉会式でのインタビューなど、子供たちによる工夫した取組を評価していただいたものと考えています。その他、田植えや登校班、ペア活動などにおいても、子供たちが主体的に活動したり力を合わせて活動したりする姿を褒めていただく御意見をいただきました。今後も子供中心の活動を通して、「コミュニケーション力」と「自ら行動する力」の育成に努めていきます。また、これからも子供たちの頑張りを認めていきたいと思っておりますので、グリーンカードを活用していただき、子供たちの輝くあrawれを学校へお知らせください。

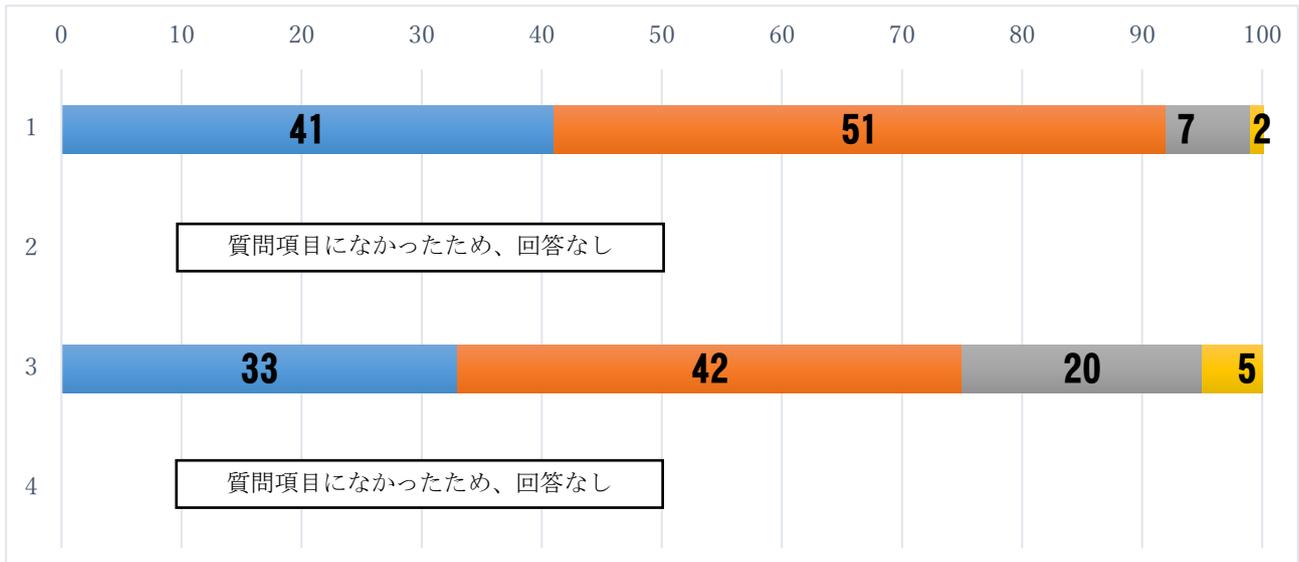
④ **だれもが安心して過ごせる学校のために**

| | 質 問 | 児 童 | 保 護 者 |
|---|----------------------------|-----|-------|
| 1 | 自分の教室は自分にとって居心地のいい場所である | 89% | 92% |
| 2 | 落ち着いて生活できている | 91% | |
| 3 | 筆箱の中身や名札など必要な物を整えることができている | 94% | 75% |
| 4 | 自分のことを知ってもらえる掲示物がある | 85% | |

児童集計 (%)



保護者集計 (%)

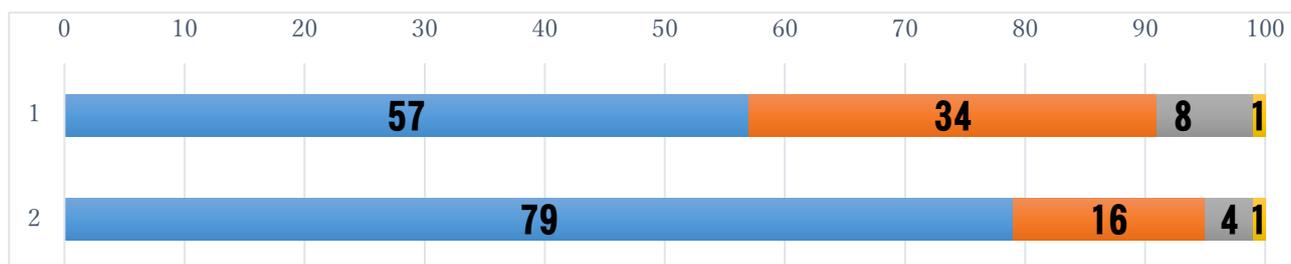


○学校内の基本的な生活や学校への所属感についての項目です。学校や学級が自分にとって居心地のよい場所であることは、子供が安心・安定して生活するための基盤となります。「自分の教室は自分にとって居心地のいい場所である」の項目に対する肯定的な回答が85%を超えていることから、学校や学級が子供にとって過ごしやすい学習環境になっているものと考えています。ただし、全ての子供が「居心地のいい場所である」と回答したわけではありません。学校や学級が、全ての子供にとって安心・安定して過ごせる場となるよう、少人数による学習指導や教育支援員の積極的な活用、スクールカウンセラー等の外部機関の利用を推進していきます。また、インクルーシブ教育の視点を積極的に学校生活に取り入れ、支援が必要な子供もそうでない子供も共に気持ちよく生活ができる環境を整えていきます。

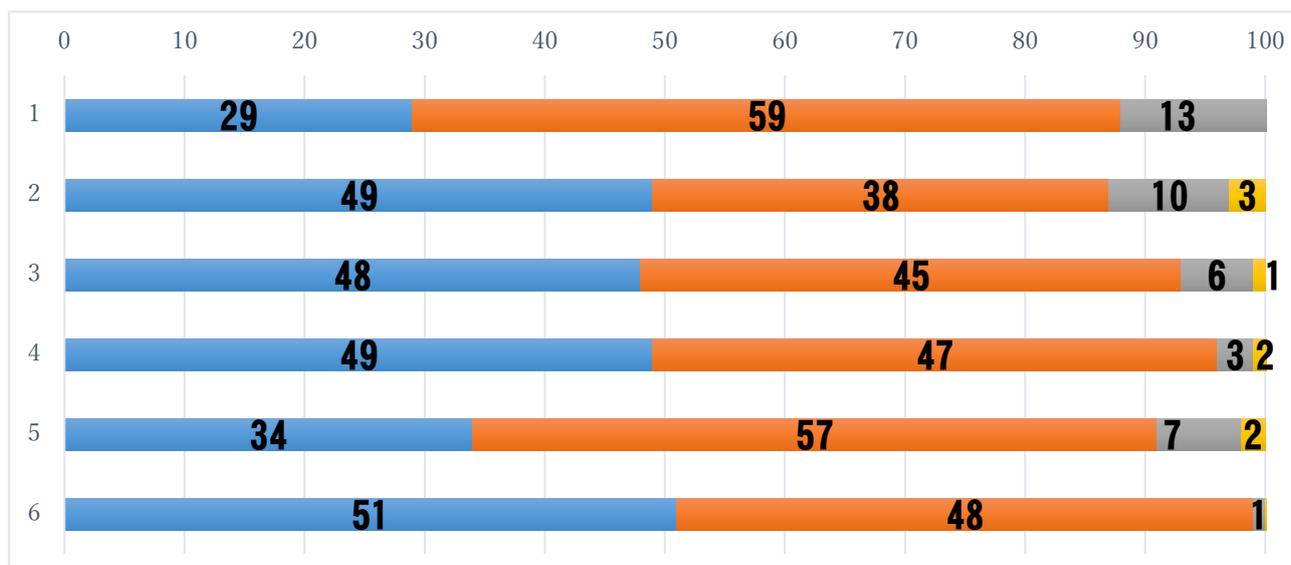
⑤ 学校運営について

| | 質 問 | 児 童 | 保 護 者 |
|---|--------------------------------------|-----|-------|
| 1 | 「ともにやってみよう」という目標に向かって努力することができた | 91% | 88% |
| 2 | 学校に信頼することのできる先生がいる | 95% | 87% |
| 3 | 学校は保護者からの相談に応じている | | 93% |
| 4 | 学校は、お便りやホームページ等で子どものよさを見つけ、伝えようとしている | | 96% |
| 5 | 学校の教育に満足している | | 91% |
| 6 | 地域と共にある学校を目指し、地域との関わりを重視している | | 99% |

児童集計 (%)



保護者集計 (%)



○学校と家庭のつながりについての項目です。アンケート結果から、保護者の皆様が学校に対して高い信頼と期待を寄せていただいていると感じています。これからも、保護者の皆様からの期待に応えられるよう努めていきます。また、自彊小学校は、昨年度から「コミュニティ・スクール」という取組を進めています。学校と地域がこれまで以上に強い結びつきでつながり、様々な活動を連携して行うことで「地域とともにある学校」を創造していきたいと考えています。これまでも、校外学習の引率や家庭科の調理実習のお手伝いなど、多くの学習で地域の方の御協力をいただきました。今後も、これまで以上に多くの方に学校のことを知っていただくとともに、子供たちとふれあっていただく機会を増やしていきたいと思ひます。

⑥ その他（保護者の方からいただいた意見）

・「端末の持ち帰りについて」

これまでも、自宅に持ち帰る教科書やノートを削減することで、荷物の重量の軽減に努めて参りましたが、低学年の子供を中心にまだまだ負担となっている状況があると受け止めております。一方で、学習に必要なものは確実に持ち帰り、家庭学習の充実につなげていきたいとも考えております。今後、本当に持ち帰る必要のあるものは何かを検討し、持ち帰る荷物の削減を進め、重量の軽減に努めていきたいと考えています。

・「朝の登校指導について」

保護者の皆様の御協力により、子供たちが安心安全に登校することができています。感謝申し上げます。

登校指導につきましては、本年度から実施方法を変更いたしました。昨年度までは、登校指導セット（旗等の道具を袋に入れた物）を引き継ぐ形で登校指導を行っていましたが、次の当番のお宅に登校指導セットを届けることができない御家庭が増加し、円滑に登校指導を引き継ぐことができない状況となっております。そこで、全ての家庭に小旗を配布し、当番表をきずなネットで配信することで、登校指導セットを引き継ぐ必要がない方法に変更したところです。また、お住まいの地区ごとに登校指導の場所を設定しておりましたが、家庭数の変動により指導を行う場所の配置人数に偏りが生じ、指導回数に大きな差が生じてしまう状況となっておりますので、学級ごとに場所を割り振る方法といたしました。

今後とも、本年度の変更に御理解いただき、子供たちが安心安全に登校することができる環境作りへの御協力をよろしくお願いいたします。

・「学校と家庭の連携について」

学校からのお知らせ方法や情報の共有・引継ぎについて、家庭と学校又は学校内における連携が不十分ではないかという御意見をいただきました。

今年度に入ってから、行事や授業のお知らせ、予定の変更のお知らせ、豪雨に伴う引渡しの依頼など、学校からたくさんのお知らせをいたしました。お知らせが遅くなったり、伝える内容が不十分だったり御迷惑をお掛けしました。また、学校内での情報共有が不十分なことが原因で御迷惑をお掛けした御家庭もありました。申し訳ございませんでした。今後は、予定の変更がある場合はなるべく早く伝えること、学校内における情報の伝達を確実にすること等を徹底していきたいと考えています。

一方で、大雨や暴風等の災害時は、できる限りの情報を収集し、迅速かつ的確な判断に努めておりますが、気象状況の変化を予測することが非常に難しいため、対応に苦慮している状況です。これからも迅速かつ適切な判断に努めますが、急な対応をお願いすることもあるかと思えます。その際は、御協力をお願いいたします。

◎この他にも多くの御意見をいただきました、学級の課題については学校と担任が情報を共有し改善を行ってまいります。自彊小学校の児童がより良い学校生活を送ることができるように今後ともよろしくお願いいたします。

アンケートへの御協力ありがとうございました。